文学部（３つのポリシー）

教育の理念

文学部は、建学の理念である「仏教」の教えと「禅」の精神に則って、人間に関わる人文諸学の智に基づき、人間の本質の理解および社会の諸問題の解決に取り組むことで、社会に貢献できる幅広い教養と専門性を身につけた人材の育成を目的とする。

その理念・目的を達成するために、６学科（国文学科・英米文学科・地理学科・歴史学科・社会学科・心理学科）を置き、さらに地理学科には２専攻（地域文化研究専攻・地域環境研究専攻）、歴史学科には３専攻（日本史学専攻・外国史学専攻・考古学専攻）、社会学科には２専攻（社会学専攻・社会福祉学専攻）を置き、深く広い人文教養によって、人間を多角的に考察できる多彩な構成となっている。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、教育の理念に基づいて定められた下記の５つの力を身につけ、所定の期間在学し、各学科が定める所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

(DP1)建学の理念を実践する力〔理解、関心、意欲、態度、主体性〕

建学の理念を踏まえ、広範で多様な人文学領域の基礎的知識を積極的に修得し、問題の発見と問題解決の能力を有している。

(DP2)幅広い教養、多様性の理解と尊重〔知識、理解、関心、意欲、態度、主体性、多様性、協働性〕

各学科が求める専門的知識と幅広い教養を身につけ、現代社会が抱える諸問題に多角的な観点から的確に対応できる。その際、国内外の多様な文化・価値観の違いを理解しようと試み、他者を尊重することができる。

(DP3)情報分析力と問題解決力〔技能、思考力、判断力、表現力〕

多様な情報を収集・分析して適正に判断・思考する力を身につけるとともに、問題の発見や問題の解決の前提となる効果的な表現力・発信力を身につけている。また、国内外の多様な資料やデータを解析し、解釈や評価を下す能力がある。

(DP4)コミュニケーション能力〔技能、思考力、表現力、主体性、多様性、協働性〕

レポートや論文等の作成能力およびプレゼンテーション技術を身につけ、自らの考えを論理的かつ明確に伝えて、他者と主体的に協働することができる。

(DP5)専門分野の知識・技能の活用力〔知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性〕

体系的に修得した各専門分野の知識・技能を活用し、豊かな創造力と表現力を持って社会の発展に貢献することができる。また、国際的視野に立って、直面する現実社会の中で、知識・技能を活かすことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に掲げた５つの力を身につけるために必要な教育プログラムを構築し、教育課程の体系性をわかりやすく明示して、４年間の教育課程を編成する。また、アセスメント・ポリシー（評価の方法）を策定し、これに基づき学生の学修成果の可視化を行い、到達度を適正に評価し、教育の改善につなげられる仕組みを構築して、教育課程や教育方法の見直しを行う。

教育内容、教育方法については下記に定める内容に従う。

1. 教育内容

1）仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につけることを目的とした「仏教と人間」を必修科目として開講する。

2）高校までの学びから大学の学びへの転換を図り、自律的で自主的な学修態度を身につけるために「新入生セミナー」を初年次に開講する。

3）全学共通教育科目を通して、多角的な知識と深い教養を体系的に身につけ、各学科の専門知識や技能の習得ばかりに偏らないようにする。

4）専門教育科目では、各専門分野の知識を体系的に学修できる講義科目、自らが主体的に研究を進める機会となる演習科目、専門的な技能の習得を目指す実験・実習科目を配置する。

2. 教育方法

1）「仏教と人間」は、共通のシラバスに基づいて講義が行われ、その中に「坐禅」の実習を含めることで、禅の精神に触れる機会を設ける。

2）専門科目を学ぶための基礎科目を１年次に必修科目として配置し、学年の進行に合わせて段階的な学修の積み上げを可能とする科目構成とする。

3）人間や社会、文化について考究するとともに、問題と見解を的確に表現できる人材の育成を目指す。そのために、少人数制の演習科目の充実を図り、実践的に学ぶ環境を整え、プレゼンテーション能力の開発を重視する。

4）「卒業論文」を重要科目として位置づけており、指導教員の担当する卒業演習に参加し、学生がお互いに切磋琢磨する環境の中で研究を深め、４年間の集大成としての卒業論文の作成を指導する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行います。

１．文学部の求める学生像

(AP1) 高等学校の基礎的な学力を身につけている。特に「国語」、「英語」の基礎的な学力を有している。〔知識、理解、技能〕

(AP2)本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、人文学に関心があり、文学部で 4 年間学んだ知識・経験を社会に出てから活かしたいという意欲を持っている。〔意欲、関心、態度〕

(AP3) 社会の出来事について問題意識を持ち、変化し続ける社会状況を読み解き、その考察した問題に関して他者にわかりやすく説明し、意見交換ができる。〔思考力、判断力、表現力〕

(AP4)国内外の文化・社会の違い、価値観の違いについて理解し、他者を尊重しつつ、主体的に協働して物事を進めることができる。〔主体性、多様性、協働性〕

２．入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

・特に「国語」と「英語」については、高等学校レベルの基礎学力をつけておく。

・入学を希望する学科が求める、入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣についても考慮する。